

対談

—新型コロナウイルス感染症の現状と今後について—

東北医科薬科大学

賀来 満夫 特任教授

大分市長

佐藤 樹一郎



昨年12月放送の市テレビ広報番組では、大分出身で感染症対策の第一人者である賀来先生をお迎えし、新型コロナウイルス感染症についてお話を伺いました。今回は、その内容を一部ご紹介します。

大分市における感染防止の取り組みや医療・検査体制について

市長 抗原検査センターを、市民が誰でも無料で利用できるようにし、開設場所もJR大分駅前に加えて、穂田・鶴崎・明野地区に拡充しました。

賀来 このような抗原検査センターを継続して開いているのは、素晴らしい取り組みだと思います。

私たちが気を付けるべきこと

自分自身でできる備え

賀来 マスク着用、手洗い、換気などの

基本的な感染対策の継続とワクチン接種（の検討）をぜひお願いしたいです。

そして、万が一に備えて解熱剤や食料品を約1週間分備蓄しておいていただきたいですね。また、具合が悪くなったときに備えて、特に一人暮らしの方は、誰かと連絡が取れるように準備をしておくことも必要です。

持つべき心構え

賀来 一人ひとりが自分の健康を守ることが、大分市、大分県、そして日本という社会を守ることにもなります。自分の



健康が地域全体の健康にも関わっているということをぜひご理解いただきと思います。

市長からのメッセージ

市長 コロナ禍だからといって縮こまらずに、感染対策などに十分注意をしながら、イベントや祭り、行事などやれることはやっていこうという姿勢で取り組んでいこうと思っています。

対談の様様は
市公式YouTubeチャンネルで
ご覧いただけます▶

